

団体最優秀賞

団体最優秀賞 受賞のよろこび

一心無双流居合道 剣心会 川崎 竹藏

新緑に輝く「昭和の日」四月二十九日の良き日。

大日本武徳会創立百二十周年記念・第五十三回全国武徳祭におきまして、団体最優秀受賞の栄誉に輝きました。我が流派は、全員の礼節・型の統一・技の鋭利さを信条といたしております。全体のまとまりや団体技の美しさを評価されたものと受け取り、剣士一同、心より嬉しく存じております。表彰式るとき、隣に並んでおられたアメリカやロシアの剣士達より「おめでとございます」と、日本語でお祝いの言葉を受けたときは、日本武道を志すもの同士、通じるものがありました。

一心無双流居合道剣心会は、京都（二）滋賀（五）千葉（二）の道場において活動いたしております。そのために、指導者間の礼節・型や技の統一に腐心いたしており、年二回、指導者研修宿泊稽古会を実施いたしております。また、毎年、稽古目標を定めて、活動にアクセントをつけるようにいたしております。今年の稽古テーマは「みせる」としてあります。見せる・観せる・魅せる等、いろいろな理解し、



最優秀賞受賞の祝いの席にて

そのためには居合道演武の熟達はもとより、詩吟などの詩武道、試斬研究など会員一同、心身の鍛練を目指しております。来年は世界武徳祭があるそうでございます。日本武道を極めたい世界の剣士達を迎えて、奥義の域まで同道いたしたいものです。一般社団法人大日本武徳会の益々の発展と、剣士同友のおつきあいをお願い申し上げます。受賞のよろこびとお礼とさせていただきます。